

2025年度「サステナブルチャレンジ」を実施しました！
 ～地域の皆さまのべ3,296名に参加いただきました～

株式会社七十七銀行（代表取締役頭取 小林 英文）は、持続可能な地域経済の構築に向けて、営業店の主体的な取組みとして「サステナブルチャレンジ」を実施しましたので、主な取組みを下記のとおりお知らせいたします。

「サステナブルチャレンジ」では、地域の皆さまと連携を図りながら活動を実施しており、2025年度は、行員等のべ1,039名が参加するとともに、地域の皆さまにものべ3,296名に参加いただきました。

七十七グループでは、役職員一人ひとりが主体的にサステナビリティへの取組みを実践し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

記

生物多様性

未来へ繋ぐ植樹プロジェクト（塩釜支店兼北浜支店・七ヶ浜支店）

東北ドック鉄工株式会社と共同で、七ヶ浜町「阿川沼」へ桜の苗木の植樹を実施し、当日は七ヶ浜町をはじめ地元の保育園や地域住民の皆さまに参加いただきました。「阿川沼」の畔は、鳥の飛来地としても有名ですが、近年はヨシが生い茂り、ごみの不法投棄等により景観を損なうほか生態系にも影響が出ていました。七ヶ浜町では、本件をきっかけに沼周辺の環境整備を強化する方針であり、「阿川沼」周辺の生態系の保全に寄与する取組みとなりました。



気候変動への対応

「南三陸グリーンアースプロジェクト」への参加（志津川支店）

MS&ADグループが実施する「グリーンアースプロジェクト」に参加しました。南三陸町内の住宅や店舗から排出される生ゴミ等の有機系廃棄物を発酵処理して、バイオガスと液肥を生成するリサイクル工場「南三陸BIO」の見学や、海を守るプロジェクトの一つとして実施している「海中熟成ワイン」を醸造する南三陸ワイナリー葡萄園の整備に参加し、南三陸町が官民一体となって取組む循環型社会について理解を深めました。南三陸サステナビリティセンター担当者を交え、循環型社会の実現に向けて一人ひとりができることについてディスカッションをし、サステナビリティ意識の醸成を図りました。



サーキュラーエコノミー

絵本の寄贈による資源循環と教育の提供（二日町支店）

当店取引先が新たに保育園を開園予定であることを受け、絵本の入れ替えや購入が必要となると推測されたことから、当店行員等に対し廃棄予定の絵本を募集のうえ集まった絵本を当該保育園に寄贈しました。不要となった絵本を再利用することで資源循環に寄与するとともに子供たちへの教育機会を提供しました。



金融教育

「全国発酵食品サミット」における金融教育ブースの出店（富谷支店）

日本生命保険相互会社、富谷市と連携し、毎年全国各地で地域産業活性化を目的に開催されている「全国発酵食品サミット」において、会場内に金融教育関連のブースを出店しました。「1億円の重さ体験」やパンフレットを用いた金融教育等の啓蒙を通じて、「気軽に金融に触れ合うきっかけ」を提供しました。



生物多様性

七十七小名浜支店・平支店&アクアマリンふくしまサテライトチャレンジ（小名浜支店・平支店）

小名浜支店・平支店とアクアマリンふくしま（公益財団法人ふくしま海洋科学館）による共同企画として海の生態系保護のためのイベントを開催しました。当日は、当行行員のほか地域住民の皆さまにも参加いただきました。地域の課題である生物多様性・生態系保護には、現状や課題を理解し意識を高めることが必要と考え、海洋の専門家であるアクアマリンふくしまの飼育員やスタッフの方から講義をしていただくなど、より実効性の高いイベントとしました。



以上

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs (Sustainable Development Goals)

2015年9月に、国連に加盟する全ての国が全会一致で採択した国際目標であり、17のゴールと、169のターゲットから構成されています。

七十七グループは2020年7月に「七十七グループのSDGs宣言～もっと、ずっと、地域と共に。～」を表明し、SDGsに対する取組みを更に強化するため、2021年10月より「SDGs実践計画」を策定しております。